

一般講演会開催

科学研究費補助金・特別推進研究「ILCのための最先端測定器の国際的新展開」

宇宙の遺伝子・素粒子で探る大宇宙の進化 ～国際リニアコライダー計画～

素粒子研究施設の将来計画として開発研究を進めている国際リニアコライダー（ILC）や、そこで解き明かそうとしている宇宙や素粒子の謎について一般講演会を開催することとなりました。

我々の宇宙や、物質の最小単位である素粒子には、まだ解明できない謎が数多く残っています。その謎を解明すべく世界中の研究者が開発を進めている素粒子研究施設が、長さが30kmを超える「国際リニアコライダー（ILC）」です。東北地方の北上山地は、その有力な建設候補地とされています。

一般講演会では、東京大学素粒子物理国際研究センターの山下了准教授を講師にお招きし、素粒子や宇宙の壮大な謎についてやさしく解説して頂きます。さらに、国際リニアコライダー（ILC）の現状や将来の見通しについてもお話ししていただく予定です。

日時：2011年9月11日（日）14：30～16：00（開場14時）

会場：東北大学川内キャンパス

東北大学百周年記念会館 川内萩ホール 会議室

講師：山下了准教授（東京大学素粒子物理国際研究センター）

※当日参加を受け付けませんが、WEBフォームより事前受付を行った方を優先とさせていただきます（高校などからの団体やグループで参加される場合は、代表の方が登録して下さい）

申し込みはこちら / <http://www.sci.tohoku.ac.jp/shien/outreach/>

※ご注意：駐車スペースがありませんので、公共交通機関をご利用のうえお越しください。



山下了（やました さとる）准教授

1989年、京都大学理学部を卒業後、同大学院理学研究科博士課程を経て理学博士号を取得。

1995年からスイスとフランスの国境をまたぐ欧州原子核研究機構（CERN）に6年以上滞在して世界最大の加速器LEPで研究を行い、ヒッグス粒子探索グループの総責任者を務められました。

国際リニアコライダー（ILC）計画の物理研究におけるアジアリーダーを経て、現在も計画の推進に携わっています。

参加費無料

お問い合わせ先 / 特別推進研究「ILCのための最先端測定器の国際的新展開」（東北大学大学院理学研究科物理学専攻内）
TEL022-795-5730 E-mail: ilc-kouen2011@epx.phys.tohoku.ac.jp